

# 月間市況等報告集計表(6年10月分)

## 1. 生鮮食料品等の市況

富山中央青果株式会社

(1) 市況の概要

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

種類	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野菜	高温、干ばつの影響が残る品目が多く、発芽・生育不良や作付け時期を遅らせるなどの対策が取られた。例年とは雰囲気の違いとなった。産地移行の時期でもあるが切り替えがスムーズにいかず、一部品目相場は高い水準で推移。特に果菜類が単価高をけん引しており、資材高騰による作付け減少に加え、曇天による作柄不良による不足感から値段が高騰。平年に比べ暖かく、病害虫被害が多発する原因となった。11月も影響は引き続きあるとみられる。例年に比べ中下旬まで高値傾向に向かう。	1,726	103%	268	108%
			116%		91%
果実	10月の主力品目であるリンゴ、みかん、柿が着色遅れや日焼け、カメムシの被害等で出荷数量が計画を下回り単価高で推移。	753	86%	349	102%
			100%		98%

(2) 主要品目の市況

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

主要品目	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野	だいこん 新川産中心の販売。昨年と比較し、面積、生産者ともに減少した為、入荷数量は例年より少ない状況が続く。他産地も天候不順の影響等で数量が減少。大根全体の単価は現在も高値で推移。	205	86%	130	102%
			171%		77%
			はくさい 10月下旬前後、長野産により対応、以降は茨城産で販売。例年より出荷開始が、半月遅い状態のスタート。12月に入るまで大幅な下げ目は、見込めない状況。		74
180%	95%				
菜	キャベツ 夏の高温の影響で、茨城愛知産共に後続が遅れる状況となった。例年11月と比較し、倍ほどの相場が続いている。群馬産の切りあがり、若干早い年となった。	211	96%	135	118%
			94%		148%
	馬鈴薯 10月中旬以降、入荷数量が少なく値上がりした状況。今後、入荷量は薄い状態が続く為、値上げ見込み。	164	91%	115	120%
			139%		74%
			たまねぎ 10月中旬以降、入荷数量が少なく値上がりした状況。今後、入荷量は薄い状態が続く為、値上げ見込み。		332
145%	82%				
果	極早生みかん 和歌山県産主体の入荷。夏の暑さで日焼けが多く、着色が遅れ入荷数量が減った為、高単価を維持。	163	59%	315	131%
			543%		98%
	つがる 青森県産、昨年より一週間早く出荷終了。	1	14%	365	136%
7%			101%		
実	アールスメロン 夏の暑さや雨の影響で土壌に菌が入り出荷数量が減った。	1	33%	639	101%
			100%		81%
	刀根早生柿 和歌山県産主体の入荷。カメムシの被害や着色遅れで入荷減、単価高で推移。	49	86%	363	110%
			1633%		67%
バナナ 前月から続く産地天候不順による減産も、レギュラー品から徐々に回復の兆しを見せてきている。	227	70%	221	123%	
		93%		101%	

## 2. 取扱品目の卸売実績

(金額:税込み)

種類	数量(kg)			金額(円)			
	受託	買付	計	受託	買付	計	
野菜	一般野菜	1,042,487	683,794	1,726,281	322,710,006	176,345,067	499,055,073
	加工野菜			0			0
	花き						
	その他						
	冷凍食品						
	計	1,042,487	683,794	1,726,281	322,710,006	176,345,067	499,055,073
果実	一般果実	243,980	508,690	752,670	115,448,544	168,299,798	283,748,342
	加工果実			0			0
	その他						
	冷凍食品						
	計	243,980	508,690	752,670	115,448,544	168,299,798	283,748,342
合計	1,286,468	1,192,484	2,478,951	438,158,550	344,644,865	782,803,415	